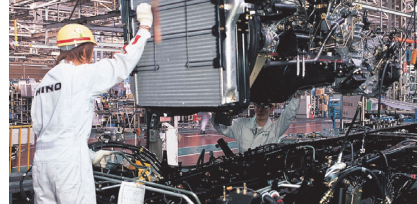


2010年度見学会のまとめについて

2010年度も多くのお客様に関東支部が企画しました見学会にご参加頂き、また見学受入れ企業・団体の皆様にも多々ご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

2010年度に実施させて頂いた見学会における参加者アンケートに基づき、下記の通りご報告させていただきます。



日野自動車(株) 大型生産ライン

1. 開催実績について

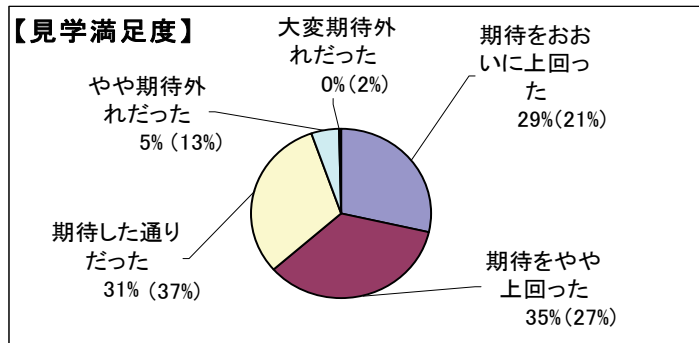
2010年度は、“日本の底力”を主テーマに

11回を開催し、参加者合計は468名でした。

分野	見学先 ホームページURL	見学概要	講演概要	実施時期	参加人数 (人)
自動車	日野自動車(株) http://www.hino.co.jp/j/index.html	大型トラック組立、 検査工程	非接触給電式電気 ハイブリッドバス	2011/2/17	63
	日産車体(株) 湘南工場 http://www.nissan-shatai.co.jp/	乗用車車体溶接工程、 車両組立工程	車両生産混流ラインと 自動化への取組み	2010/9/17	67
自動車部品	(株)ヨロズ栃木 http://www.yorozu-corp.co.jp/jp/outline/point/oyama.htm	サスペンション部品の 製造工程、 ハイドロフォームによる 成形工程	生産ラインの省人化と 安全対策への取組み	2010/8/27	38
	旭硝子(株) 相模工場 http://www.agc.com/index2.html	自動車用安全ガラス の製造工程	自動車用窓の高機能化 ～遮熱性向上への取組み	2010/11/10	45
	GKNDドライブラインジャパ ン(株) 栃木工場 http://www.gkndriveline.com/drivelinecms/opencms/ja/about/about-japan/index.html	駆動系部品の製造工程、 テストコース体験試乗	平準化生産による在庫 削減・リードタイム短縮	2010/12/7	25
	テイ・エステック(株) 埼玉工場 http://www.tstech.co.jp/	ヘッドレスト一体発泡と 接着シートの製造工程	シート技術の歩み(安全 機能の進化)	2011/1/19	36
異業種・その他	(株)北嶋絞製作所 http://www.kitajimashibori.co.jp/	へら絞り加工	日本のモノづくりイノベ ーション～大田区から世界 の母工場へ	2010/5/12	36
	(株)自研センター http://www.jikencenter.co.jp/	自動車修理技術開発 衝突試験、展示室、修理 工場	損傷性・修理性の評価と 評価試験法開発の現状	2010/6/18	44
	ファナック(株) 忍野本社工場 http://www.fanuc.co.jp/	産業ロボット組立工程	ファナックの知能ロボット について	2010/7/13	38
	西武鉄道(株) 武蔵丘車両検修場 http://www.seibu-group.co.jp/railways/	車両の検査・保守点検の 各工程と最新の設備等	鉄道車両メンテナンスの 実状	201/12/1	38
	日立アプライアンス(株) 栃木事業所 http://www.hitachi-ap.co.jp/	大型冷蔵庫セル生産工程	生産革新活動について	2011/3/10	38

2. 参加者の満足度について () カッコ内は前年度(2009年度)の数値

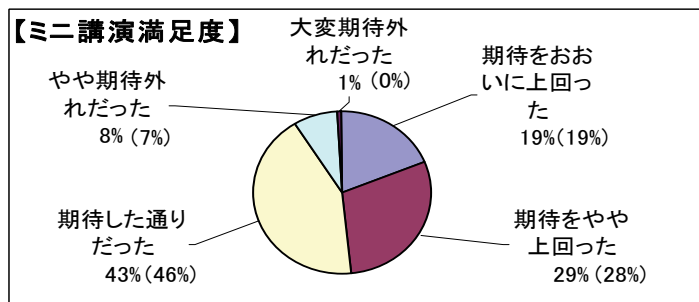
(1) 見学満足度



<コメント抜粋>

- ・生産のしくみを参考に持ち帰りたい
- ・改善活動の内容が素晴らしい
- ・普段知る機会のない施設が見学できて良かった

(2) 講演※満足度 (※全ての見学会に含むミニ講演)

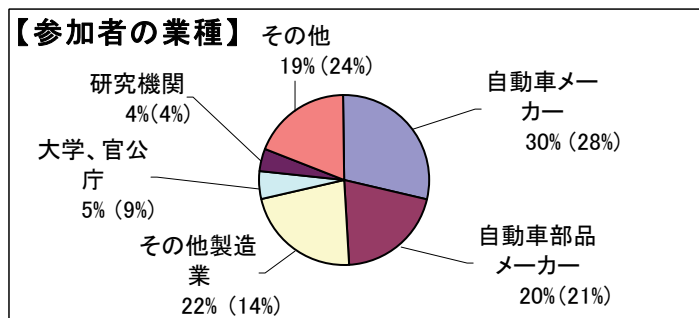


<コメント抜粋>

- ・概要が見学と合わせ良くわかり色々ヒントになった
- ・どのように強いモノづくりを支えているかよく判った
- ・最近の技術の展開が良くわかった

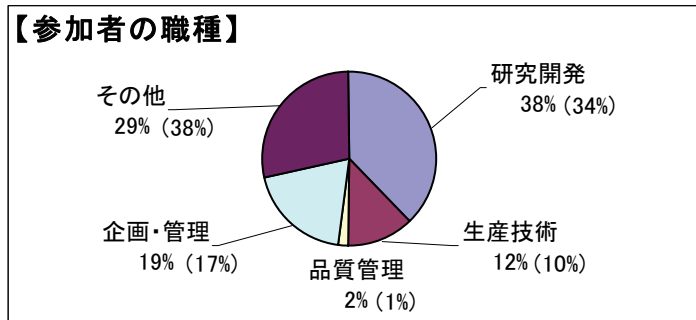
3. 参加者の属性について () カッコ内は前年度(2009年度)の数値

(1) 業種



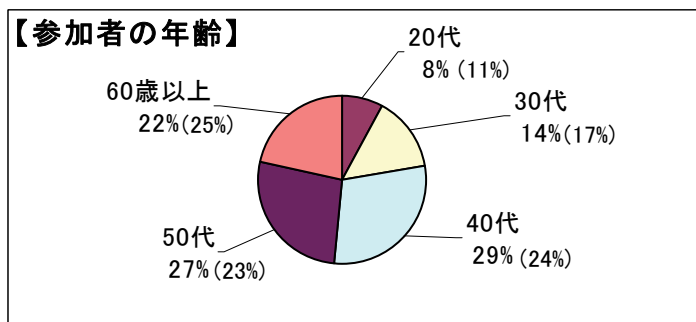
前年度と比較し、「その他製造業」比率が大きく伸びており、幅広い製造業に訴求する企画内容となったことが覗えます。

(2) 職種



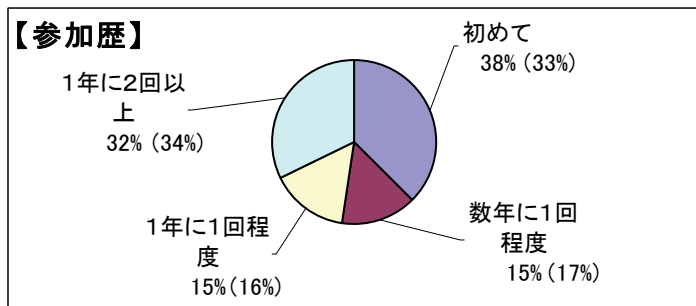
前年度と比較し、「その他」を除く全ての職種の比率が高くなっており、上記の各職種の皆様にご興味を持ってご参加頂きました。

(3) 年齢



前年度と比較し、40代、50代の管理職層の比率が増加しており、経営に活かせる企画内容と捉えられたものと推測しています。

(4) 参加歴



前年度と比較し、「初めて」の比率が高くなっており、今までご参加頂けなかった新たな参加者にも、ご興味をもって頂いた企画内容となりました。

見学会担当理事会は、「新たな発見をご提供できる魅力的な見学会を企画すること」を基本方針として取組んでおります。アンケートを基に、今後ともより良い見学会を企画してまいりますので、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。